

りそな外為レポート

りそな WEEKLY COLUMN

りそな外為レポート

Everyday Everynight 話したくはない(P2)

チーフカスタマーディーラー
井口 慶一

今週のドル円予想レンジ **105.50 ~ 108.00**

りそなWEEKLY COLUMN

有事に直面しオリンピックや伝統行事を想う

(P3)

埼玉りそな銀行 資金証券部
マネージャー 伊藤 まこと

- 古代オリンピックは戦乱を乗り越え1200年続いた行事
- 日本の1100年の伝統を誇る祇園祭は疫病に苦しんだ過去を今に伝える
- コロナ禍をきっかけとし、現代オリンピックが原点に立ち返り柔軟に変化し、競技者が最高のパフォーマンスを発揮できる環境になるよう強く望む

2020/5/18

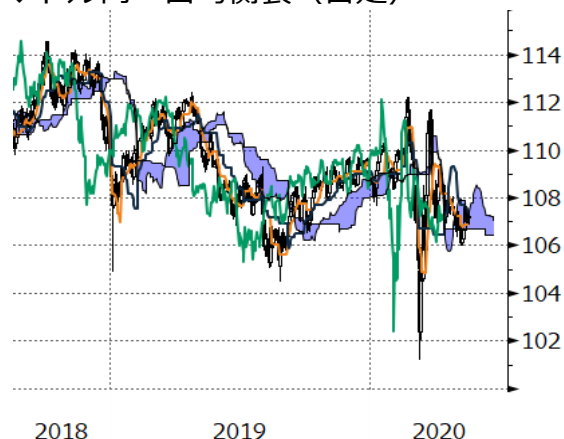
りそな外為レポート

Everyday Everynight 話したくはない

今週のドル円予想レンジ **105.50 ~ 108.00**

(りそな銀行市場トレーディング室予想 発行当日の10時時点)

◆ドル円一目均衡表（日足）



◆為替相場のすすめ

先週は、経済再開期待をテーマとしたリスクオン相場から、新型コロナウィルス感染の第2波発生への警戒感をテーマとしたリスクオフ相場に転換した。加えて米中対立激化懸念もネガティブな影響をもたらしている。

「米政府が中国にウィルスに関する情報隠蔽を巡り金銭的補償を求める方法を模索中」との報道に続き、トランプ大統領は「習主席と関係は良好だが、今は話したくない」と述べ、断交も辞さないとする強硬な姿勢を鮮明にした。今週も拙速な経済再開による第2波警戒と米中対立懸念から株式市場の上値は重い展開となりそう。

ドル円もドルの上値が重い展開を見込むが、そのスピードは緩やかだろう。FRBが金利の乱高下を抑制していると見られ、日米金利差は横ばい推移が予想されることと、トランプ大統領が「強いドルを持つには素晴らしい時代」と発言したことがドルのサポート材料。ドル高支持方針への180度の転換は、新型コロナウィルス蔓延中に限り、海外からの米国への資金流入を促し、米株市場と米債市場の安定を図ろうとする期間限定のドル高容認キャンペーンと思われる。

(チーフカスタマーディーラー 井口慶一)

◆今週の日程

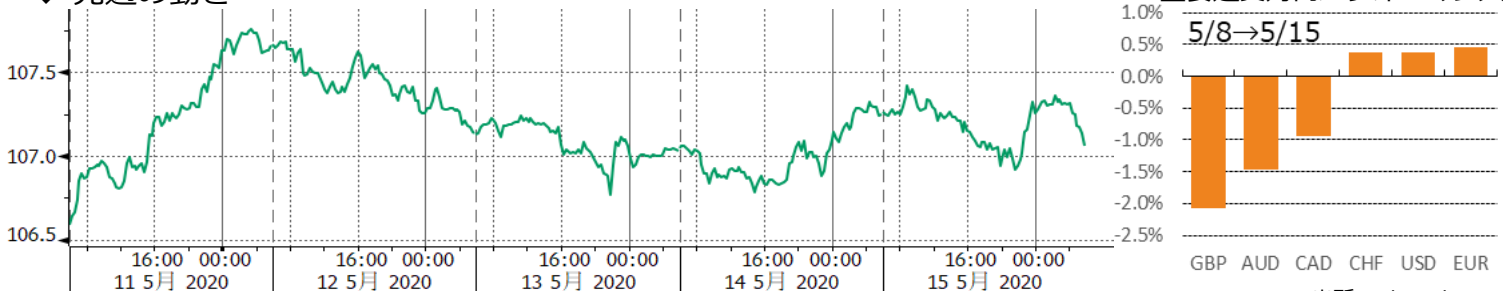
11日(月) 米 3年国債入札
12日(火) 日 日銀「主な意見」(4/27、28)
12日(火) 米 4月CPI
12日(火) 米 10年国債入札
13日(水) 日 4月景気ウォッチャー調査

13日(水) 米 30年国債入札
15日(金) 中 4月生産・小売・投資
15日(金) 米 4月小売売上高
15日(金) 米 4月鉱工業生産
15日(金) 米 5月ミシガン大消費者信頼感指数

◆今週の予想（ドル高 強い ↑ 普通 ↑ ドル安 強い ↓ 普通 ↓） NY引け値 5月15日(金) 107.06円 VS 5月22日(金)

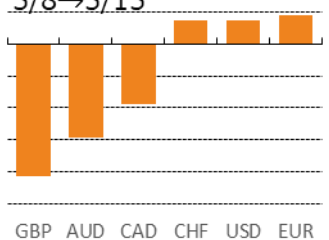
東京								大阪			埼玉					
尾股	中根	湊	井口	鳥井	田中	浦本	中里	伊藤	佐藤	鈴木	武富	野瀬	小林	津田	石井	伊藤
↑	↓	自宅待機	↓	↑	↓	↑	↑	↓	自宅待機	↓	自宅待機	↓	↑	↑	↑	↓

◆先週の動き



主要通貨対円パフォーマンス

5/8→5/15



出所：Bloomberg

◎注意事項
お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願いいたします。

2020/5/18

りそな WEEKLY COLUMN

有事に直面しオリンピックや伝統行事を想う

- 古代オリンピックは戦乱を乗り越え1200年続いた行事
- 日本の1100年の伝統を誇る祇園祭は疫病に苦しんだ過去を今に伝える
- コロナ禍をきっかけとし、現代オリンピックが原点に立ち返り柔軟に変化し、競技者が最高のパフォーマンスを発揮できる環境になるよう強く望む

埼玉りそな銀行 資金証券部
マネージャー 伊藤 まこと

古代オリンピックの紹介

東京2020は延期になってしまった。サッカーの試合の抽選に当たっていたので、白熱した試合をみる事ができたら、と楽しみに待っていた。延期になってしまった空白の気持ちを満たそうと、オリンピックがどのように始まったのかということ調べてみると、古代オリンピックは1200年も続いていたというのでさぞ面白かったのだろうと一層興味が湧いた。古代ギリシャ人のおおらかさも魅力的だ。神話も絡んでいるのでどこか物語적であり、少し長くなるが、日本オリンピック委員会のホームページから紹介したい

古代オリンピックの始まりから終わり

紀元前8世紀頃、古代ギリシャでは都市国家間の争いが続いていた。エリスという国も、約50km離れたオリンピアという領地の所有権をめぐり、隣国のピサと交戦状態。そればかりか感染症も流行したので、行き詰ったエリスの王はデルフィにある神殿で祈りをささげた。すると、「争いをやめて、以前行っていた競技会を復活せよ」と神の託宣を受ける。王は、ピサと休戦し、紀元前776年にオリンピアで競技会を行った。これが古代オリンピックの始まりと言われている。古代オリンピックはゼウス神を祭る聖なる祭典であったため、血を流すことは禁じられていた。祭典期間の5日間を含め前後3か月は休戦期間とされ、「エケケイリア（聖なる休戦）」と呼ばれた。この3か月間は、武器を持ってオリンピアのあるエリスに入ることはもちろん、争いごとなども禁止された。このため、遠くから訪れる選手や観客も、3か月という長期間にわたり、安全にオリンピックを観戦することができたのである。こうして競技者と旅人の安全が保証されたため、古代オリンピックは約1,200年もの長い間にわたって続けられた。

やがてギリシャは国力を増していたローマに征服され、オリンピアの競技大祭にローマ人たちも参加するようになった。宗教行事だったオリンピアの競技大祭は、ローマが支配する全地域から競技者が集う国際的な競技大会となったが、大会規模が大きくなるにつれ、地位や名声を求める人々によって、競技が賭けの対象になり、八百長が行われたりした。大会は徐々に神聖さを失い、オリンピアもローマ人の観光地に成り下がっていった。そして、ローマ帝国のテオドシウス帝がキリスト教をローマ帝国の国教と定めたことで、オリンピア信仰は禁止され、オリンピアの競技大祭も廃止に追い込まれた。記録では393年に開催された第293回オリンピック競技大祭が最後の古代オリンピックとなっている。戦乱を乗り越え1169年間も受け継がれたオリンピアの伝統は、終焉の時を迎えたのである。

出典) 公益財団法人日本オリンピック委員会



2020/5/18

りそな WEEKLY COLUMN

それにしても、紀元前の開始時から1200年の間一度も中止はなかったというので驚くのだが、日本にも今に続く長年の伝統行事がある。日本三大祭りの一つで最も古い、1100年の伝統を有する京都の八坂神社の祭礼、祇園祭だ。

祇園祭は、869年に京の都をはじめ日本各地に疫病が流行したとき、平安京の広大な庭園であった神泉苑に、当時の国の数66ヶ国にちなんで66本の鉾を立て、祇園の神を祀り、さらに神輿を送って、災厄の除去を祈ったことにはじまる。明治時代に4回ほど、コレラや流行り病によって延期や前倒しがあった。残念ながら今年の祇園祭りの山鉾巡行については中止になった。山鉾を建てて動かすための道路使用許可が得られず、延期はできないそうだ。

私は恥ずかしながら祇園祭の成り立ちを知らなかった。さらにいうと、日本は自然災害だけでなく、疫病にも見舞われていた国であったことをほとんど知らずに育ってしまった。日本での新型コロナの感染拡大は、近年の医学の進歩により、疫病に苦しんだ過去を忘れ、国も個人も油断があったのかもしれない。1970年代に生まれた私ですら疫病の歴史に疎いので、若者に感染拡散の怖さがないのも当然かと思われる。ただ諸外国と少し違うのは日本の長い疫病の体験による防疫方法は食生活、家屋の形態、生活習慣の中に自然と染み入っており、手洗い、うがい、清潔な衣服を着るといったことが定着していることだ。古の人が我々を本当に守ってくれているようだ。祭事の継承は意味のあることであり、本来の意図を知って口承伝承をしていかなければと強く思う。

古代オリンピックの原点は、全能の神であるゼウスをはじめとした神々に捧げる祭典であった。神々を喜ばせるために神々が造った人間の美しい姿を見せようとした。古代のギリシアで考えられた「人間の究極の美」とは、「男性の肉体美」である。最高神ゼウスに捧げる競技会のため、不正は禁物。そのため、参加者だけでなく観戦者たちもみな、全裸にならなくては会場へと入場できなかった。何と神秘的・・・それに比べて、最近のオリンピックは賑やかな競技にばかり注目が集まり、商業イベントとして過剰になりすぎている。また、誘致の醜聞、放映権を有する業者にスケジュールまで握られていることなどが明らかになり、見る側の関心も薄れてきてははないだろうか。コロナ禍を受けて、世界中の人々のオリンピックへの想いが変わっているように思う。開催方法の柔軟な変化に期待したい。そして穏やかな世界秩序の下でオリンピックが開催され、競技者が最高のパフォーマンスを発揮できるような環境になっていることを強く望む。

京都の祇園祭

オリンピックのこれから